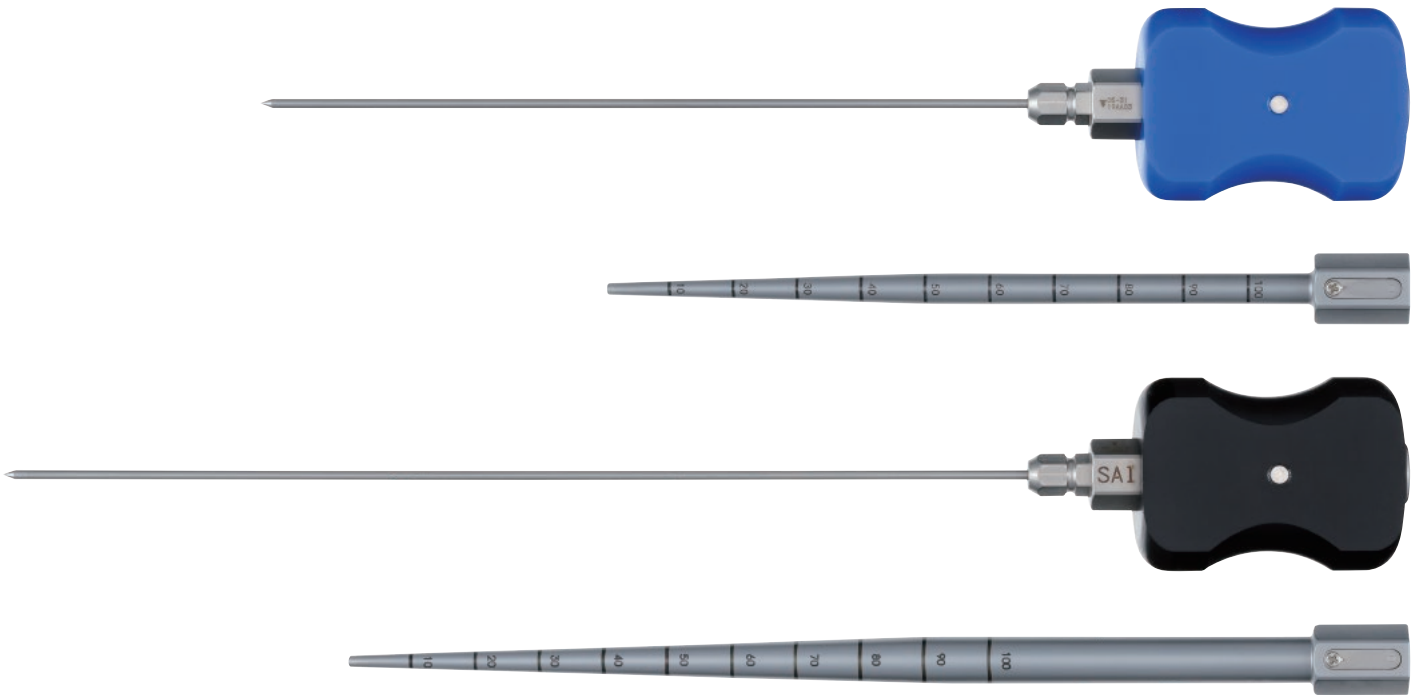




田中医科器械製作所

Tanaka Medical Instruments



PPS(経皮的椎弓根スクリュー)刺入位置の決定と
ガイドワイヤー設置及び下穴作成用手術器械です。

中空ペディクルプローブ

J-probe

Reusable

For PPS

ディスポーザブルニードルなどと比較した「優位性」

細いため強度が十分でない場合が多く、折損・体内への残留事故が発生する可能性がある。

- ▶ 本製品は外径5~7.5mmであり、強度不足による折損の可能性は極めて低い。

ストレート形状のため、硬い骨の場合、打ち込み後に抜けなくなることがある。

- ▶ 本製品はテーパード形状のため、打ち込み後、回転させることにより容易に抜くことができる。

ランニングコストがかかる(ディスポーザブルであり、¥25,000~30,000/per)。

- ▶ 本製品はリユーズブルである。

「J-probe」独自の特徴

- 本製品のハンドル部は透過性であり、刺入位置や刺入角度の確認に支障がない。
- ハンドルがスリムなため複数本を並べて刺入しても干渉しにくい。(MIS-Long Fixationにも対応)
- SAIシリーズにて仙骨翼から腸骨間のスクリュー挿入に対応可能。

製品構成と仕様

本製品はニードル付ハンドルとマーカを組み合わせて使用します。

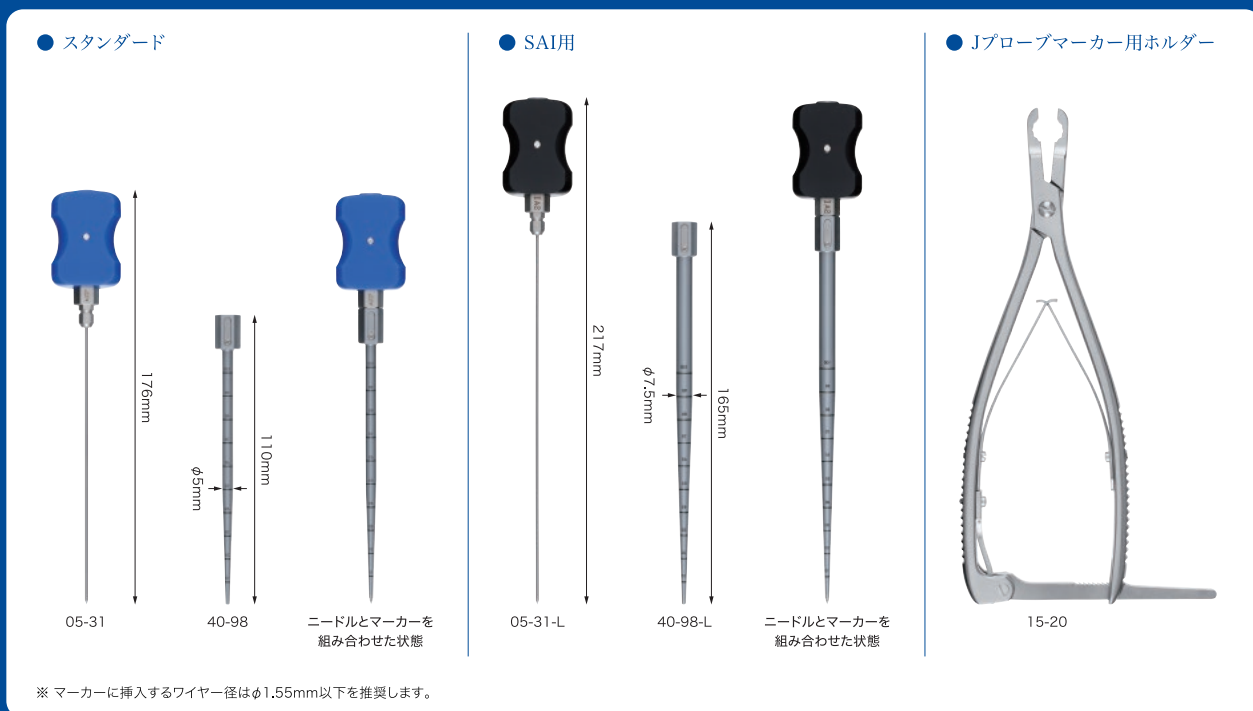
< 基本の操作手順 >

- 1 X線透視化に正確な椎体正面像を用いて、刺入点となる椎弓根の外縁を確認し、皮膚と筋膜に切開を加える。
- 2 ニードル付ハンドルとマーカを組み合わせた状態で刺入し、椎弓根内縁の手前までハンマーなどを用いて進める。
- 3 X線透視側面像にて、椎体にプローブ先端が達していることを確認する。
- 4 至適位置までプローブを進め、ニードル付ハンドルを抜き取り、マーカの内腔にガイドワイヤを挿入する。X線透視側面像を確認しながら、ガイドワイヤ越しにタッピングとPPS刺入を行う。

※ ニードル付ハンドルは先端が鈍タイプ(05-31-B)もございます。

※ 専用ホルダー(15-20)にてニードル付ハンドルの首元を把持し、持ち手へのX線被曝を回避する。

< 製品情報 >



本製品は、「東京慈恵会医科大学整形外科学講座篠原光先生」のアイデアをもとに製品化したPPS専用の中空ペディクルプローブです。

商品コード	商品名	JANコード	届出番号	販売名
05-31	Jプローブ <ニードル付ハンドル>	4582145332339	13B1X00274000166	オウル
05-31-B	Jプローブ <ニードル付ハンドル/先鈍>	4580469469847	13B1X00274000166	オウル
40-98	Jプローブ <マーカ>	4582145332346	13B1X00274000166	オウル
05-31-L	Jプローブ <ニードル付ハンドル/ SAI>	4580469477200	13B1X00274000166	オウル
40-98-L	Jプローブ <マーカ/ SAI>	4580469477217	13B1X00274000166	オウル
15-20	Jプローブマーカ用ホルダー	4580469477187	13B1X00274000152	把持器

永く培われた技術で医学に貢献する



株式会社 田中医科器械製作所

Tanaka Medical Instruments Co., Ltd.

〒114-0012 東京都北区田端新町2丁目14番18号
Tel. 03-3894-7810 Fax. 03-3894-7795
<http://www.e-tanaka.co.jp>